

関の障害者施設 建て替え1棟完成

県福祉事業団

県福祉事業団が建て替え工事を進めている関市桐ヶ丘の障害者支援施設「ひまわりの丘」の「いこい棟」が完成した。写真。二十七日に同施設で内覧会と落成式があった。

ひまわりの丘は旧施設の老朽化に伴い、事業団が二〇二二年までに新たに四棟を建てる計画で工事が進んでいる。いこい棟の建設は全四期の工事のうち第一期で、昨年八月に着工した。

鉄骨平屋二千七百三十二平方メートルで、五十二部屋の個室がある。室内や廊下が基準よりやや広めに作られている



ほか、利用者の安全確保のため十台の防犯カメラや警察への非常通報装置を設置した。四月から利用が始まる。

式には四十人が出席。利用者が、よさこい踊りや太鼓を披露した。事業団の島田清理事長は「利用者のプライバシー保護などに重点を置いた。他の施設の模範となるよう運営していきたい」と話した。（大野雄一郎）